

船舶事故等調査報告書

平成25年3月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012神第173号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成24年8月26日（日） 07時15分ごろ
発生場所	大阪府泉南市榎井川河口付近 泉南市所在の大阪府岡田港波除堤灯台から真方位065° 350m 付近 (概位 北緯34° 23.7′ 東経135° 16.7′)
事故等調査の経過	平成24年11月26日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート バグース、6.3トン
船舶番号、船舶所有者等	235-21161大阪、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士
死傷者等	なし
損傷	プロペラに曲損、船底部に擦過傷
事故等の経過	本船は、船長ほか1人が乗り組み、試運転のために榎井川河口付近を航行中、陸岸が近くなったので、機関を後進にかけたときに異音が発生し、機関を中立状態にして原因を調べていたところ、風に圧流されており、平成24年8月26日07時15分ごろ榎井川河口付近の浅所に乗り揚げた。 本船は、漁船にえい航されて岡田港に入港した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風速 約7m/s、視界 良好 海象：潮汐 上げ潮の中央期
分析	
乗組員等の関与	なし
船体・機関等の関与	あり
気象・海象の関与	あり
判明した事項の解析	本船は、榎井川河口付近を航行中、機関を後進にかけたときに異音が発生したので、機関を中立状態にして原因を調べていたところ、風に圧流されたことから、榎井川河口付近の浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、榎井川河口付近を航行中、機関を後進にかけたときに異音が発生したので、機関を中立状態にして原因を調べていたところ、風に圧流されたため、榎井川河口付近の浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考え

られる。

- ・ 陸岸付近で機関を止める場合は、風などの影響により圧流されても、陸岸や浅所に接近しないように錨泊すること。